

2008 年度事業報告書

特定非営利活動法人 映像記録

I 事業期間

2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日

II 事業の成果

NPO 法人として 3 年目となる 2008 年度は世界不況の影響を受けて PR 系の仕事が激減し、経済的には厳しい 1 年となった。しかし逆に、本来の設立目的である社会貢献のためのビデオ制作に、より多くの力を注ぐことが出来た 1 年だったと言える。

まず、メインクライアントである神戸学院大学からの依頼として、大学がスタートさせた地域社会と大学を連携させるいくつかのプロジェクトの、映像ツール面からの支援として、多くのビデオ制作を行った。具体的には、学生による小学校、中学校などへの出前授業を補完するための導入映像の制作、或いは環境問題を大学、行政、地域社会が一体となって考える「地球環境防災フォーラム」の完全収録、文部科学省選定による現代 GP での大学行事の記録撮影、大学主催の「神戸市民夏季防災大学」シリーズの完全収録、更にはポートアイランドにある他の 3 大学（兵庫医療大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学）と連携して行われる地域社会へのサポート事業の克明な記録など、多岐に亘る。大学では他にも、筑波大学の教材用ビデオとして、刀匠の仕事を紹介する「刀剣にこめられた日本人の心」「剣道具に見る職人の技と心」などを制作、また京都嵯峨芸術大学の「京都嵯峨野文化サロンシリーズ」の収録は「第七回・色で読み解く源氏物語の世界」で七年目となった。

他方、ホームページの情報提供による依頼では、一般個人や NPO 団体からの催しやシンポジウムなどの収録は、前年度に比べ着実に増加している。若手落語家たちを支援するボランティアからの依頼で行った天満天神繁昌亭での落語の収録、イラクの子どもを支援する大阪在住のフリージャーナリストの依頼による教材ビデオの編集、大阪の府立高校からの依頼による学園祭の収録、大阪の NPO 法人が主催する発達障害の子どもたちのためのスポーツ教室の教材ビデオ、食の安全性を考える大阪の NPO 団体による講演会とワークショップの収録及びその販売用ビデオパッケージ制作、などがある。また、地方ロケも積極的に行い、名古屋の NPO 法人の活動 10 周年記念イベントの収録、養父市の公民館で行われた子ども歌舞伎の収録、などがある。

こうした依頼者には、リピーターやクチコミ情報で相談してくる個人や団体も少なくなく、そのことは取りも直さず映像記録が作るビデオ制作物の、サービス対応面も含めたクオリティの高さを証明するものだと考えている。

今後の課題としては、そうした仕事のクオリティを維持・向上するための一層の努力は勿論のこと、経済的な基盤を確立するために、行政などからの依頼を増やす何らかの告知活動の必要性を感じている。ホームページのみの受動的な対策だけではなく、より積極的にアプローチしていく方策と行動力を次年度の課題として行きたい。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 神戸学院大学関連事業

(内 容) 神戸学院大学及び連携大学における学術、文化、芸術、又はスポーツなどについての授業、講座、講演会などの記録

(実施場所) 神戸学院大学、学内外

(実施日時) 2008年4月～2009年3月

(事業の対象者) 神戸学院大学

(収 入) 8,438,780円

(2) (事業名) (1) 以外の事業

(内 容) 大学、研究機関、ボランティアグループ、地域グループ等における活動の記録や広報・活動促進の為にDVDの制作

(実施場所) 京都、明石、大阪他

(実施日時) 2008年4月～2009年3月

(事業の対象者) 京都嵯峨芸術大学、NPO法人チットチャット、他

(収 入) 5,325,446円

2 その他の事業

無し

Ⅳ 社員総会の開催状況

第4回通常総会

(日 時) 2008年7月12日19時より

(場 所) 本法人事務所

(社員総数) 16名

(出席者数) 12名(委任状を含む)

(内 容) 第1号議案 前年度決算及び、事業報告の件
審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 本年度予算及び、活動計画の件
審議の結果、全員一致で承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第5回理事会 2008年7月12日18時より

(内 容) 第1号議案 前年度決算及び、監査報告の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 本年度事業計画の件

審議の結果、全員一致で可決承認